

## 口腔がん予後予測因子としての Systemic inflammatory response についての検討

東京歯科大学口腔がんセンターおよび東京歯科大学市川総合病院歯科口腔外科では「口腔がん予後予測因子としての Systemic inflammatory response についての検討」という臨床研究を、医療法人社団松和会池上総合病院歯科口腔外科と共同で行っております。この研究は、根治手術を施行した口腔がん患者さんの術前の血液検査結果より Systemic inflammatory response（以下 SIR）という数値を算出し、この数値が口腔がんの予後予測因子となりえるかを解析することを目的としております。SIR にはアルブミン値、C-reactive protein、Glasgow Prognostic Score、好中球数・リンパ球数比、血小板数・リンパ球数比、リンパ球数・単球数比などがあり、いずれも容易に算出が可能です。そのため、過去に口腔がんの治療目的に口腔がんセンターおよび歯科・口腔外科を受診された患者さんのカルテから診療情報および検査データを抽出、使用させて頂きますので御協力をお願い出来れば幸いです。なお、本研究を施行するにあたり、新たに患者さんへの負担は生じません。

### 1. 研究の対象

本研究は 2006 年 4 月 1 日から 2015 年 3 月 31 日までの期間に口腔がんに対する根治治療目的に、東京歯科大学口腔がんセンターおよび東京歯科大学市川総合病院歯科口腔外科を受診した患者さんを対象としています。

### 2. 研究目的・方法

今回、根治手術を施行した口腔がん患者さんの術前血液検査結果より SIR という数値を算出し、この数値が口腔がんの予後予測因子となりえるかを解析することを目的に、2006 年 4 月 1 日から 2015 年 3 月 31 日までの期間に口腔がんに対する根治治療目的に東京歯科大学口腔がんセンターおよび東京歯科大学市川総合病院歯科口腔外科を受診した患者さんを対象とした研究を実施致します。調査は、過去の診療録より後述いたします情報を抽出し、調査致します。今回得られた結果は、個人が特定されるような事や、御本人にあらためて負担をお願いすることはありません。また、研究結果は学術雑誌に発表する予定であり、発表に際しては個人を特定できない形を取らせて頂きます。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、組織型、分化度、浸潤様式、原発部位、TNM Stage (UICC)、行われた治療内容と開始日終了日、化学療法、手術日、術式、リンパ節転移、病理病期、再発日、最終無再発生存日、死亡日、最終生存確認日、再発部位、後治療、術前末梢血採血データ

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
御希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及

び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方に御了承頂けない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも今後診療を含めて、不利益になるようなことはありません。

**照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：**

千葉県市川市菅野 5-11-13

東京歯科大学 オーラルメディシン・口腔外科学講座 河地 誉

電話番号：047-322-0151

**研究責任者：**

東京歯科大学 オーラルメディシン・口腔外科学講座 河地 誉

**研究総括者：**

池上総合病院 歯科口腔外科

東京歯科大学 オーラルメディシン・口腔外科学講座 逢坂 竜太

※本研究は、東京歯科大学市川総合病院倫理審査委員会の審査を経て、病院長の許可を得ています。

また、この研究により新たな検査や費用が生じることはございません。

また、試料・情報を使用させて頂いた患者さんへの謝礼等もございません。